



2025年1月6日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 H O I S T
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 執 行 役 員 CSO 柿 沼 千 早
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 CFO 阿 部 公 志
(電話番号 072-707-2760(代))

効率的な PDX 調製方法に関する論文掲載のお知らせ

2020年に社会実装し、当社が創薬基盤技術としてサービス提供をおこなっている PDC (Patient-Derived Cell : 患者由来細胞)ならびに PDX (Patient-Derived Xenografts : 患者由来異種移植片)に関する論文が Journal of Toxicologic Pathology の電子版に掲載されましたのでお知らせいたします。本論文は当社役職員が共同執筆をしております。

当社が提供する当該サービスは、よりヒトのがんに近いモデルを用いた創薬研究を可能にするものであり、臨床試験の成功確率の向上や個別化医療など、抗がん剤の効率的な開発に大きく貢献します。医療機関との連携のもと、摘出直後の組織の入手できる環境により低継代数の PDC/PDX を提供可能であることに加え、遺伝子変異や診療情報の付与など高度にカスタマイズされた評価系の提供が可能です。

本論文は、凍結保存された膀胱癌組織から PDX モデルを構築する新たな方法論として、ハイドロゲルを用いた効率的な PDX 調製方法について報告しています。本稿での結果は当社独自の創薬基盤技術 (PDC/PDX サービス) のさらなる発展と、当社パイプラインの一つである筋層非浸潤性膀胱癌を対象とした亜塩素酸ナトリウム薬剤 (HM-001) の臨床試験および研究開発に貢献することが見込まれます。

※論文内容の詳細につきましては下記ページをご覧ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/tox/advpub/0/advpub_2024-0054/_article/-char/en

以 上